

大久野通信 vol.7

2年目の挑戦



青梅市がお隣ということもあり、活動拠点でもつい最近までピンクの可憐な梅の花を愛でることができました。季節は移り、間もなく桜のシーズン。名所の桜も良いですが、活動拠点周辺にはポツンと咲く桜を目にします。人知れずに咲きいつの間にか散る、どこか自分の人生を重ねてしまう・・・大久野倶楽部です。

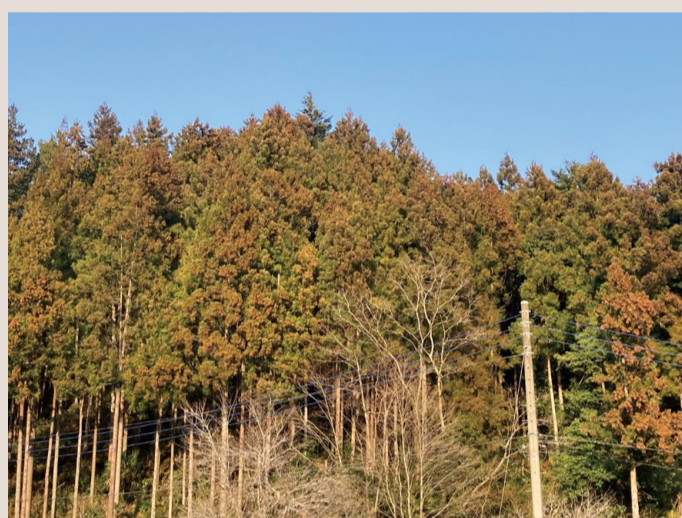


INDEX

- ・春先の洗礼
- ・越冬したニンニクたち
- ・ジャガイモよ！再び
- ・今後の展望

春先の洗礼

活動拠点周辺は杉の名産地です。化石燃料の台頭や安価な外材の普及で、出荷されることなく放置された国産杉。立派に成長した穂先は、胞子をまとい春先の山を茶色く染めます。晴天の日には、黄砂の如く花粉が舞い、くしゃみ・鼻水・目の痒みで苦悩します。花粉症には辛い、春先の儀式です。



黄色く染まる杉林

越冬したニンニクたち

昨年の9月に植えたニンニク君。出だしは感動のスタートで、成長を楽しみしておりました。現在の姿は写真の通りです。



冬を越したニンニクたち



なぜか葉が茶色に！

活動拠点の冬は予想以上に寒く、雪が降ることもしばしば。冬に強いといわれるニンニクですが、現在は茶色の葉が目立っています。窒素不足が原因だった様です。通常は、成長過程で追肥をしますが、緩効性肥料の特性を生かし、敢えて追肥なしで実証を行いました。どうもこれが裏目に・・・。RBSゴールドに含まれる窒素成分は土壌中の微生物で分解されて作物に供されるため、微生物の働きが弱い冬季は、分解が進まなかった様です。同様のことは、別途プランターで実施した小松菜の生育試験でも確認されました。過剰量（所定の5倍）を施肥したケース以外は、茶色く変色した葉が目立ちました。

大量の収穫で黒ニンニクでも製造するか？と期待が膨らんだ栽培は、思わぬ壁に直面しています。

ジャガイモよ！再び

思えば、大久野倶楽部が最初に育てたのはジャガイモでした。RBSゴールドの効果も有り、葉は立派に成長し、いざ収穫！と意気込んだものの皆小ぶり。この時に覚えたのが「間引き」という言葉でした。初めて育てた嬉しさで、間引きなどとも考えられませんでした。どうもこれが敗因。この失敗をバネに、今年は新規の畑を準備して仕切り直します。



新たに開墾した畑地

今後の展望

24年度がスタートし、大久野倶楽部の活動も2年目に突入しました。RBSゴールドの性能調査の目的で様々な作物に挑戦しましたが、虫や獣の被害、雨不足や霜害など、一通りの洗礼を経験しました。スーパーに並ぶ野菜たちは、プロの作品、若しくは選りすぐりの勝者なのだよな、とつくづく感じます。農業実証と銘打ってスタートしましたが、自然界の出来事に阻まれ思う様には進まなかったというのが正直な感想です。先ず、まともな作物が作ることができなければ、正確なデータが得られません。様々な貴重な経験を踏まえ、今年こそはと想いを新たにしている大久野倶楽部です。